

通告時間 90分

広瀬 弘二 議員

幼稚園・保育所の統合に反対です

保育と幼児教育を5歳児まで一貫して受けられる施設を整備したい

幼保一元化について

問 幼稚園と保育所を一元化する、それを急いでやろうとする意図はどこにありますか。

町長 平成20年3月に保育所保育指針が改定され、幼稚園教育要領とほぼ同一の内容となり、多古町の幼児教育現場においても幼稚園と保育所が同様の内容となるよう連絡・調整をしてきました。多古町では加速する少子化により特に幼稚園の適正規模の確保がしにくい状況となり、一方で保育ニーズの多様化に十分な対応ができない状況もあります。このような状況をふまえ幼稚園・保育所という制度を超え子どもたちが5歳まで一貫して幼児教育と保育を受けられる環境を整備するとともに在宅保育児及びその保護者に対する子育て支援をすることが重要と考えます。

問 一元化ということについては細かい点をつめなければならぬと思いますが、私は応援したいと考えています。しかし、一元化という名の下に多古台住宅団地跡地に10億円をかけて町内1カ所に統合した施設を造るということに納得できません。広い多古町から首のすわらない乳幼児を連れて来いという考え方は無理がある。新10カ年計画では児童保育所を各小学校に造るとありますが、これとの整合性はどうなりますか。10億円は現在ある施設を改修するのに使った



常磐・久賀・中幼稚園、3園合同（計38名）で行われた交通安全教室

方がいいのではないのでしょうか。

町長 財源については最悪の場合町の起債のみで考えました。今の国の方向性も変わってきておりますので、交付金の確保なども含めて検討していきたいと思えます。幼保一元化事業の進め方については充分意見を集約し、できるだけ取り入れていきたいと思えます。

町長給与と議員の報酬について

問 多古町、匝瑳市、横芝光町、山武市、神崎町、長生村の町（市・村）長の給与及び議員の報酬について調べてみました。6市町村の中で多古町長の給与は2番目に高く匝瑳市長よりも高くなります。一方議員報酬は神崎町議員よりは

通告時間 90分

加瀬 芳廣 議員

多古高等学校の将来像は

小中学校との連携強化と地域に根差した特色ある教育の推進を

多古高校の今後について

問 多古高等学校の生徒数の減少から学校再編の対象ではないですが、また、学校存続について町として努力していますか。高校のPRを広報で行い特色ある学校作りはできないでしょうか。

町長 厳しい経済状況の中、高校生への就職環境も大変厳しくなっており、企業はコミュニケーションの能力に富み、意欲に満ちた個性豊かな人材を求めていると思います。このような魅力的な人材を育成することが特色ある学校づくりと考えます。高校のPRを含め、地域と多古高校との繋がりを深めていく必要性を考えております。

教育長 現在多古高校は再編の対象になっていませんが、今後は充分考えられます。21年度に県の推進により文部科学省で行っているコミュニケーション推進事業に推薦されて、町の教育



多古高校生と久賀小児童の交流の様子が「広報たご」に掲載されました

成田空港と共生するために

問 騒音防止地区の基準にあわせた環境対策を講じる考えはありますか。また、新しく環境対策を講じる考えがあれば「第1種、準谷間、隣接、騒音地区」についてどうするのか伺います。

町長 騒音対策は、周辺市町とのバランスをみながら準備を進めているところです。年度が替わりましたら説明に入り、具体的な対策を示していきたいと考えています。

空港シャトルバスの運行について

問 空港⇄多古シャトルバスのうち上下2〜3便でも、新町・仲町経由はできませんか。循環バスとの接続があれば利用しやすいと考えますが。

町長 バスの利便性を図り多くの皆さんに利用して頂くためにも改善していきたいと思えます。これには経費もかかりますので、検討を加え対策を講じていければと思っています。循環バスとの接続は難しい点もありますので、今後の研究課題とさせていただきます。

国民健康保険の税率改正案について

問 先日提出された資料では国民健康保険税の税率を3割近くアップしなければならぬという改正案が示されました。今まで何度も国民健康保険については議会でも質問されてきましたが、こんなに国民健康保険が悪化しているということは報告されていませんでした。予算の見通しが甘いのではないかと心配です。国保については一般会計から繰り入れる等の工夫が必要ではありませんか。

町長 議員として勤めている状況と、私が携わっている部門とで差異があるということでご理解いただけないのかもしれませんが、私は妥当だと思っております。

副町長 先日の議会全員協議会で説明をうけましたので、極力負担を低く抑えたいということで調整をしています。

問 共同利用施設設置区域内の騒音下にある集会所、青年館等で町の助成金対象外の建物も騒音下という特殊な環境下にあるので、空港会社としては交付金対象事業として対応できると言うが、町は空港会社と相談できますか。

町長 空港周辺対策交付金は町が行った事業に対して交付されるもので、町が行うことが前提となります。騒音下の皆さんの環境の向上に繋がるものですから空港会社と調整しながら推進していきたいと思えます。

問 多古町航空機騒音等対策協議会では、県道成田松尾線沿いに展望台を兼ねた多古町産品の売店や、空港の情報発信基地として『空の駅』を作っていくような展望台が、町は側面から協力できますか。また、空港東側からの入口設置についてはどう考えますか。

町長 空の駅は、空港会社や県からぜひ地元町村で考えていただきたいという事であり、どう具体化するか検討していきたいと思えます。東側入口設置は、空港に入る道を最短コースで作ってほしいと空港会社に強く要望しております。